



2021夏季手当シリーズ③



JR労働者の未来に向けて各労働組合へエール!

夏季手当交渉も始まる中、東日本ユニオン新潟地本は厳しい状況においても組合員とJR労働者の生活を守るために夏季手当要求額の満額支給が必要と考えています。会社は赤字下においても設備投資を進めています。同様の投資を社員に実施するべく職場から声を発信しなくてはなりません。

JR労働者の組織の垣根を超えた連帯を創り出すために、夏季手当を要求している各労働組合の地方本部へエールを送りました。要求額に違いはあっても、JR労働者の未来のために夏季手当満額獲得が必要である認識に違いはありません。地方からJR労働者の連帯を力強く創り出し夏季手当勝利を実現させましょう!

力を合わせて!!



申 13 号夏季手当第 1 回交渉

5 月 31 日 (月) 14:30~

2021年度夏季手当勝利に向けたメッセージ

貴労働組合の日頃からの取り組みに敬意を表します。

私たち東日本ユニオンは2021年度夏季手当について、5月14日に経営側に申し入れを行い、「基準内賃金の2.8ヶ月分」を要求に掲げたたかひを展開しています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、JR東日本の2020年度期末決算は会社発足以来、初めての赤字となりました。経営側は社員に対し経費の削減を呼びかけ、年末手当の大幅減額や定期昇給のカットを実施しました。職場では夏季手当に対して「昨年より減額されても仕方ない」「もしかしら出ないのではないか」といった諦めや不安の声が聞かれます。しかし一方で「生活給となっているから減らされるのは厳しい」「ローンを支払うこともむむむできない」といった切実な声が上がっているのも現実です。

人件費は2020年度決算で対前年度555億円の減となりました。さらに2021年度の通期でも同58億円の減を見込む一方で「変革2027」の早期実現に向けたスピードアップのためとして昨年度実績比160億円増となる5,510億円の設備投資を計画しています。何千億円という資金調達をしても成長投資を行いながら人件費は削られるだけ削り、黒字化を現場で抱く労働者には投資を惜しむ経営姿勢に屈することはできません。

経営側が公言する2021年度の黒字化達成のためには安全を第一に、安定した輸送と質の高いサービスの提供が前提となります。JR労働者一丸となって困難な状況乗り越え、グループの持続的な成長を実現するには、その担い手であるJR労働者が安心して業務に集中できる生活の維持と向上が必須です。

東日本ユニオンは、組合員と家族の生活を守るために、夏季手当の要求満額獲得に向けてたかひを創り出します。不満や不安が職場に満ちているなか労働組合の存在価値が問われています。厳しい今だからこそ、労働側が力をあわせて一体となって経営側と向き合うことが必要です。組合員、JR労働者、そして家族の幸福のために、夏季手当要求実現に向けて、共に奮闘して参りましょう!

貴労働組合の益々の発展と組合員・ご家族の皆さまのご健勝を祈念しまして、2021年度夏季手当勝利に向けたメッセージといたします。

2021年 5月吉日
JR東日本労働組合新潟地方本部
執行委員長 星山 圭

労働組合の力で夏季手当を勝ち取ろう!